施策項目９　ふるさと教育の充実

[評価結果]

【担当課：義務教育課（教育政策課、文化財・博物館課）】

担当課ＨＰ

総合評価	進展あり

定量評価［指標］	C

指標		(a)	(b)	(c)	(d)
	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	0	1	1	2
	d評価となった指標	③			

定性評価［施策］	進展あり

ふるさと教育・観光教育の充実に向けて、北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業を実施し、全14管内に実践校を位置付け、総合的な学習の時間等における北海道の自然や文化、観光産業等の教育資源を活用した教育活動に取り組むとともに、その成果を実践交流会や普及啓発資料を通して発信することにより、優良事例の共有化が図られたことや、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習や北方領土に関する学習において、施設や人材・動画教材等を活用した体験学習を通した学習を行っている学校の割合が増えたことから、施策の進展が認められる。

[施策の推進状況]

【Ｐ】・・・「Plan　令和３年度の主な施策」【Ｄ】・・・「Do　主な取組の状況」
【Ｃ】・・・「Check　施策の課題」　　　　【Ａ】・・・「Action　今後の方向」

《課題・背景》	
	(1) 身近な地域の自然環境や歴史、伝統、文化、産業等の理解の促進 ・北海道の自然や文化、観光産業等の教育資源の活用を通じて、ふるさとに対する興味・関心を高める指導の工夫が必要
	(2) アイヌの人たちの歴史・文化等に関する教育の充実 ・アイヌの人たちの歴史・文化等に関する施設や人材、動画教材を活用した体験を通した学習の一層の推進が必要
	(3) 北方領土に関する教育の充実 ・北方領土に関する施設や人材、動画教材を活用した体験を通した学習の一層の推進が必要

(1) 身近な地域の自然環境や歴史、伝統、文化、産業等の理解の促進

【P】	①本道の自然や文化、観光産業などの教育資源を活用した実践や体験施設先を活用した教育活動の実施 ②本道の自然環境や歴史、文化等についての理解を深め、郷土に対する愛着や誇りを育むふるさと教育・観光教育等推進事業の実施	①・道立施設における無料開放（北海道みんなの日の７月17日に道立美術館・博物館の常設展の無料開放を実施） ・修学旅行等の受入可能な施設等のＷｅｂページ掲載 ②・ふるさと教育・観光教育等推進事業の指定校を対象とした実践事例交流会において、優良事例の実践交流（11月19日） ・上記事業による実践事例のＷｅｂページ掲載 ・教育資源活用サイト「ふるさとＮａｖｉ」及び教育資源検索サイト「もっと知りたい！！『ほっかいどう』」等を活用した教育活動の充実	【D】
【A】	①「北海道みんなの日条例」を踏まえた教育活動の充実に係る周知啓発及びふるさと教育・観光教育等推進事業実践交流会等におけるふるさと教育に活用できる教育資源や教材、Ｗｅｂサイトの活用促進 ②北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業において、北海道・北東北縄文遺跡群などの教育資源や、教育資源検索サイト等を活用した実践を推進	①ふるさと教育に活用できる教育資源や教材、Ｗｅｂサイトの活用促進等を図るために「北海道みんなの日」の趣旨の周知啓発が必要 ②北海道に対する愛着や誇りを育む教育活動の充実を図るため、新たな観光資源や教育資源検索サイトの周知や活用を一層促すことが必要	【C】

次年度へ

(2) アイヌの人たちの歴史・文化等に関する教育の充実

【P】	①アイヌ教育相談員を活用した事業の実施 ②アイヌの人たちの歴史や文化などについての理解を深め、郷土に対する愛着や誇りを育むふるさと教育・観光教育等推進事業の実施	①市町村への「アイヌ教育相談員」派遣（７校派遣） ②・ふるさと教育・観光教育等推進事業の指定校を対象とした実践事例交流会において、優良事例の実践交流（11月19日） ・啓発資料「ピラサ」の発行及びＷｅｂページ掲載（３月） ・教育資源活用サイト「ふるさとＮａｖｉ」及び教育資源検索サイト「もっと知りたい！！『ほっかいどう』」等を活用した教育活動の充実（６月、３月）	【D】
【A】	①・② 北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業において、アイヌ教育相談員の活用促進や、啓発資料の作成に取り組むとともに、修学旅行等における体験学習で「ウポポイ」を活用した優れた実践事例の紹介や教育資源検索サイト内のコンテンツの改善・充実	①アイヌ教育相談員の活用促進のために市町村等へ「アイヌ教育相談員」派遣に関する周知を図ることが必要 ②施設や人材、動画等を活用した体験学習を実施している学校の割合は目標値を達成していないことから、啓発資料や「ウポポイ」の提供する動画資料、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する北海道の動画コンテンツ、教育資源検索サイトの周知や活用をさらに促すことが必要	【C】

次年度へ

(3) 北方領土に関する教育の充実

【P】 ①北方領土対策本部との連携による外部講師の派遣等、北方領土に関する教育の推進 ②北方領土に関することなどについての理解を深め、郷土に対する愛着や誇りを育むふるさと教育・観光教育等推進事業の実施	【D】 ①・市町村への「北方領土の語り部」（元島民・後継者）を派遣（11校派遣） ・小・中学校における北方領土学習事業「ジョバンニの島」上映北方領土学習会の活用（６管内９校） ②・初任段階教員等を対象とした研修会における普及啓発 ・ふるさと教育・観光教育等推進事業の指定校を対象とした実践事例交流会において、優良事例の実践交流（11月19日） ・教育資源活用サイト「ふるさとＮａｖｉ」及び教育資源検索サイト「もっと知りたい！！『ほっかいどう』」等を活用した教育活動の充実（６月、３月）
【A】（次年度へ） ①北方領土対策本部と連携し、市町村への「北方領土の語り部」（元島民・後継者）の派遣や道内全域における北方領土学習事業「ジョバンニの島」上映北方領土学習会の活用促進に取り組むとともに、北方領土学習に関するＷｅｂサイトの活用促進 ②北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業において、北方領土に関する教育活動の優良事例の普及啓発や、教育資源サイト内のコンテンツの改善・充実	【C】 ①施設や人材等を活用した体験を通した学習を行っている学校の割合が低いことから、北方領土に関する各種事業を周知するとともに、学習資料や人材等の活用を促すことが必要 ②児童生徒の北方領土問題に対する関心を高め、理解を深めることが求められていることから、優良事例を活用した学習活動や教育資源検索サイトの周知及び活用を更に促すことが必要

[指標の状況及び評価]

指標の内容		基準値	目標値（上段）／実績値（下段）(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)	進捗率	評価	出典（調査名等）	実施主体	調査期日又は調査対象期間	指標の対象
① 「地域や社会で起こっている問題に関心があるか」という質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学校６年生、中学校３年生の割合(%)【全国学力・学習状況調査】	小	(H29)		68.6	76.5	–	–	100	–	-	全国学力・学習状況調査	文科省	※令和元年度調査項目削除	公立小・中学校の児童生徒（小６・中３）
		60.7	60.7	61.7	–	–	–							
	中	(H29)		66.0	74.5	–	–	100	–	-				
		57.5	57.5	59.0	–	–	–							
② アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において、施設や人材等を活用した体験を通した学習を行っている学校の割合(%)	小	(H28)		47.0	60.3	73.5	86.8	100	82.7%	c	教育活動等に関する調査	道教委	R4.6	公立小・中学校
		33.8	35.6	46.2	45.0	60.8	R4.10							
	中	(H28)		35.1	51.3	67.5	83.8	100	93.2%	b				
		19.8	18.4	29.2	20.0	62.9	R4.10							
③ 北方領土に関する学習において、施設や人材等を活用した体験を通した学習を行っている学校の割合(%)	小	(H28)		32.1	49.1	66.1	83.1	100	46.3%	d	教育活動等に関する調査	道教委	R4.6	公立小・中学校
		15.1	13.5	22.6	12.5	30.6	R4.10							
	中	(H28)		31.0	48.3	65.6	82.8	100	53.7%	d				
		13.7	13.3	19.9	10.6	35.2	R4.10							

評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		ｄ評価に対する今後の取組	
	0	1	1	2		C		③ 実践校等の計画的配置や実践交流会の実施、普及資料や動画教材などの活用促進により、地域の実態に応じた教育資源を活用した教育活動の充実を図る。